

第4章

プロジェクト研究

研究主題

今養版キャリアプランニング・マトリックスの見直し

～今養版キャリアプランニング・マトリックスの効果的な活用に向けて～

1. 研究の概要

(1) 設定理由

昨年度のプロジェクト研究では、平成 28 年度の学校教育目標の変更に加え「今養版キャリアプランニング・マトリックス（以下、「マトリックス」という。）の活用に向けて授業実践（生単・作業）であがった課題をふまえ、本校生徒の実態に合ったマトリックスに修正を行った。しかし、マトリックスの改訂はしたものの各指導の形態、各教科などでの具体的な活用については引き続き検証していく必要がある。

今年度は昨年度と同様にマトリックスの効果的な活用に向けて各指導の形態（生活単元学習・作業学習）・各教科の指導内容表、年間指導計画の見直しを図り、マトリックスの内容と関連付けを深めていくこととした。マトリックスに沿って見直しを進めることで各指導の形態や各教科での系統的な指導を行い、職業自立や社会自立に必要な実践的な能力や態度を育成することができるのではないかと考える。このような考えから、本主題を設定した。

(2) 研究の内容と方法

年間指導計画の見直しを図るため各指導の形態・各教科のチーフ 9 名を中心に内容の精査・検討を行った。

- 指導内容表の文言の整理をする。
- 指導内容表の書式に学年割り振りをする。
- 年間指導計画の題材に指導内容表の項目を割り振る。
- 年間指導計画の見直しを図り、完成させる。

(3) 推進日程

- 平成 28 年 5 月 6 日：研究内容について確認
- 平成 28 年 10 月 7 日：指導内容表文言の整理、学年割り振りについて検討
- 平成 28 年 10 月 18 日：研究推進委員会において報告
- 平成 28 年 10 月 28 日：全体研修（中間報告）

- 平成 29 年 1 月 25 日：年間指導計画の題材に指導内容表の刻目を割り振る
年間指導計画見直し、完成
- 平成 29 年 2 月 1 日：研究推進委員会において報告
- 平成 29 年 2 月 11 日：全体研修（最終報告）

2. 研究のまとめ

今回の研究では指導内容表を見直し、年間指導計画との関連付けを行うことで、年間指導計画の立案および指導略案作成の時に指導内容表をより意識しての授業作りを実践することができた。マトリックスをより効果的に活用していくために年間指導計画との関連付けをさらに進め、立案された年間指導計画を実施し、改善していきながら検証を進めていきたいと考える。

各指導形態・各教科の指導内容表の学年割り振り、指導内容表の年間指導計画の照合などを参考資料として掲載する。

3. 成果と課題

今年度の研究を進めるにあたり、それぞれの各指導形態や各教科の指導内容表の項目を整理する中で、本校生徒の実態に合わない項目や指導されていない項目などを洗い出し、見直しをすることができた。また、それぞれの指導内容表と年間指導計画との項目を照合し「各指導の形態（生活単元学習・作業学習）・各教科の指導内容表」－「各指導の形態（生活単元学習・作業学習）・各教科の年間指導計画」の関連付け、内容の関連性の精査を行うことで指導内容の項目が明確になり、年間指導計画に反映され、授業実践に生かすことができると思われる。

今後は「マトリックス」－「各指導の形態（生活単元学習・作業学習）・各教科の全体計画」－「各指導の形態（生活単元学習・作業学習）・各教科の年間指導計画」の関連付け、内容の関連性の精査を行い、本校のキャリア教育の全体計画の作成につなげていくことが必要である。

生活単元学習 各教科との関連と指導内容一覧 (1学年)

月	単元名	目標／学習内容	指導内容	各教科との関連
4	★ 高校生になって	- 生活単元学習で行う学習内容がわかり、1年間の学習の見通しを持つことができる。 - 高校生活での目標を立て、達成するための方法を考えることができる。 - 今金町についての知識を深める。	【意思疎通】 1、2 【人間関係】 8、10 【地域社会とくらし】 11 【公共施設等の利用】 10～12	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1),(2),(3),(5) 2 段階(1),(3),(5)
5	○ 進路の学習①	- 進路を自分で選び、自分で決定するための情報を集めることができる - 卒業後の生活や働くことの意味について知る。	【意思疎通】 1～2 【人間関係】 1、3～6、8～10 【人の気持ち】 11～22 【病気・けが】 1～2、4 【運動・余暇】 14～17 【購入時の対応】 1～10 【金銭・家計管理】 1～6 【公共施設等の利用】 10～12 【社会人・職業人としての基礎】 1～9 【働くことに関する知識・理解】 1～14、7～9、13、22、 【自立した生活に関する知識・理解】 1、2、14	(国) 1,2 段階全て (職) 1 段階(3),(4),(6) 2 段階(6)
6	★ 心とからだ①	- 自分の心や体に興味を持ち、大切にすることが出来る。 - 性に関する正しい知識を身につけることができる。 - 男女の言動の違いを知り、大人としてふさわしい言動について考えることができる。	【意思疎通】 1～2 【男女交際】 24、25 【体のしくみ・はたらき】 1、2、7、9、10 【病気・けが】 1、2 【二次性徴】 1～5 【性行為】 6	(国) 1,2 段階全て (理) 1 段階(1),(2) 2 段階(1)
7	☆ 『交流を深めよう』	- 他国の同年代の生徒との交流を通して異文化に触れ、社会性を養う。 - 日本の文化（食生活、遊び）を共有し、理解を深める。 - 施設の見学や野外活動を通して、地域の歴史や文化、自然に触れ、理解を深めさせると共に、その魅力を体感させる。 - 仲間と共に活動し、その楽しさを味わわせると共に、集団行動や公衆道徳を学ばせる。	【意思疎通】 1、2 【マナー】 3 【社会のしくみとくらし】 1 【学校行事】 1～5	(国) 1,2 段階全て (理) 1 段階(4) (社) 1 段階(1),(2),(3),(5) 2 段階(3),(5) (外) 1 段階(1),(2),(3) 2 段階(1),(2),(3) ※2年に1度

8 9	○ 現場実習	・ 現場実習の意義や目的を理解し、働くために必要な知識や態度を学ぶことができる。 ・ 自分の進路について関心を持ち、積極的に学習に取り組むことができる。 ・ 現場実習を振り返り、課題と成果を明らかにし、今後の生活に目標を持つことができる。	【意思疎通】 1、2 【マナー】 3 【購入後の対応】 1 5 【公共交通機関の利用】 2～3 【公共施設等の利用】 1 0～1 2 【社会人・職業人としての基礎】 1～8 【働くことに関する知識・理解】 4、5、7～9、1 3	(国) 1,2 段階全て (職) 1 段階(1),(2),(3),(4),(5),(6) 2 段階(1),(2),(3),(4),(5),(6) (数) 1 段階(4) 2 段階(4)
9	★ 生活する力を身につけよう①	・ 身だしなみや清潔、衛生について自分の生活を振り返って考えることができる。 ・ 衣服の管理方法を知ることができる。	【意思疎通】 1、2 【マナー】 3 【衣】 1～4	(国) 1,2 段階全て (家) 1 段階(3),(4) (社) 1 段階(1)
10	○ パソコンについて学ぶ	・ パソコンの基本的な使用方法を知ることができる。 ・ アプリケーションソフトを使用して作品を作ることができる。	【意思疎通】 1、2 ※ 【情報処理・機器の扱い】 パソコンの扱い方、操作方法 (ワード、エクセル) アプリケーションソフトの使い方	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1) (情) 1 段階(1),(2),(3),(5), 2 段階(1),(2),(5) (職) 1 段階(3),(7) 2 段階(3)
11	○ 社会見学	・ 働く姿を想像して質問を考えたり、就労先を見学したりすることで将来の進路に対するイメージを持つことができる。 ・ 集団行動のルールやマナーや礼儀を学び、活動の場で活かすことができる。 ・ 見学先で学んだことを仲間と協力して話し合い、まとめることができる。	【意思疎通】 1～2 【人間関係】 8 【公共施設等の利用】 1 0～1 2 【働くことに関する知識・理解】 3～8 【自立した生活に関する知識・理解】 1～2	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1),(2),(3), 2 段階(1),(3) (職) 1 段階(4)

11 12	☆ 学校祭を成功させよう	・舞台発表を通して自分を表現することの楽しさを味わうことができる。 ・舞台発表の中身を理解し、自分なりの表現方法を考えることができる。 ・学年全体で協力することの大切さを学び、活動に取り組むことができる。	【意思疎通】 1、2 【マナー】 3 【人間関係】 8～9 【人の気持ち】 11 【学校行事】 1～5	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1)
1 2	★ 生活する力を身につけよう②	・調理などの経験を通して、食に対する意識を高めることができる。 ・グループ活動で協力して学習に取り組むことができる。	【意思疎通】 1、2 【マナー】 3 【基礎・準備】 1～4 【調理の技術】 5、7～14、19、20 【後片付け】 21～23	(国) 1,2 段階全て (数) 1 段階(2),(4) (家) 1 段階(2),(3),(4) 2 段階(2),(3),(4) (社) 1 段階(1)
2	★ 心とからだの学習②	・高校生として望ましい人との関わりについて考えることができる。 ・自分と他者の気持ちを考えたとるべき行動について理解することができる。	【意思疎通】 1、2 【人間関係】 7 【男女交際】 23 【命】 1、4 【からだのしくみ・はたらき】 4～7、 【社会人・職業人としての基礎】 1、3～7	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1)
3	★ 進級に向けて	・行事の目的を理解して取り組むことができる。 ・1年間の学習内容を振り返り、次年度にどのようにつなげるかを考えることができる。	【意思疎通】 1～2 【社会人・職業人としての基礎】 1、3～5	(国) 1,2 段階全て (社) 1 段階(1)
		・1年間のまとめ ・来年・将来に向けて ・卒業生を送る会準備 ・自己理解・将来の目標 ・将来に必要な知識 (内容は実態に応じる)		

・★は課題単元、☆は行事単元。○は総合的な学習。

生活単元学習 各教科との関連と指導内容一覧 (2学年)

月	単元名	目標／学習内容	指導内容	各教科との関連
4	★ 2年生になって	・1年間の学習内容を知り、進路を含めた学習への意欲を持つことができる。 ・学校生活や進路について考えることができる。 ・希望とする進路を実現するために必要なことを考えることができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 1, 3～6、8～10 【人の気持ち】 11、14、16～22	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) 2段階 (1) (2) (4) 〔社会〕 1段階 (1) (2) 2段階 (1) 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階
5 6	○ 現場実習	・現場実習の意義や目的を理解し、働くために必要な知識や態度を学ぶことができる。 ・自分の進路について考え、積極的に学習に取り組むことができる。 ・現場実習を振り返り、課題と成果を明らかにし、今後の学習や生活に目標を持つことができる。	【意思疎通】 1, 2 【マナー】 3, 4 【人間関係】 1, 3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【病気・けが】 1, 2 【公共交通機関の利用】 1～3、6～9 【公共施設等の利用】 10, 11 【社会人・職業人としての基礎】 1～14 【働くことに関する知識・理解】 1～26	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) (4) 2段階 (1) (2) (3) (4) 〔社会〕 1段階 (1) (2) 2段階 〔数学〕 1段階 (1) (4) 2段階 (1) (4) 〔理科〕 1段階 2段階 〔職業〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階 〔情報〕 1段階 2段階
6 7	★ 宿泊研修	・見学や体験を通して、社会生活に必要なルールやマナーを学び、進路選択に対する意欲を高めることができる。 ・自己の役割に責任を持ち、仲間と協調して主体的に活動する姿勢・態度を身につけることができる。	【意思疎通】 1, 2 【マナー】 3, 4 【人間関係】 1, 3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【購入時の対応】 1～10 【基礎・準備】 1～4 【調理の技術】 7～10、14～16、18～20 【後片付け】 21～24 【地域社会とくらし】 12 【公共交通機関の利用】 1～9 【公共施設等の利用】 10～12 【社会人・職業人としての基礎】 10～12 【働くことに関する知識・理解】 10、26, 27	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) (4) 2段階 (1) (2) (3) (4) 〔社会〕 1段階 (1) (3) 2段階 (3) (5) 〔数学〕 1段階 (1) (4) 2段階 (1) (4) 〔理科〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階

8	※性教育講話の事前学習は国語等で行う。 ★心とからだ③	・性に対する正しい知識の習得を通し、望ましい心身の成長を図る。 ・異性との接し方や関わり方と欲求や適応規制について理解を深めることができる。 ・今後の生活に活かすための具体的な方法を考えることができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 1, 3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【男女交際】 23～32 【体のしくみ・はたらき】 1～10、 【二次性徴】 1～4 【性行為】 6, 9	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) 2段階 (1) (2) (3) 〔社会〕 1段階 (1) 2段階 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階
8 9	★進路の学習	・働くために必要なことを仲間と考えることができる。 ・施設見学を通して、これからの自分に何が必要かを考え、今後の生活の在り方を考えることができる。 ・今後の生活で基本的な行動を身につける努力を重ね、働いて生活する意識を持つことができる。	【意思疎通】 1, 2 【マナー】 3, 4 【人間関係】 1, 3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【社会人・職業人としての基礎】 1～14 【働くことに関する知識・理解】 1～27 【自立した生活に関する知識・理解】 1～4	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) 2段階 (1) (2) (3) 〔社会〕 1段階 (1) (3) 2段階 (1) (3) 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階
9 10	★生活する力④	・食事に関する基礎的な事項（5大栄養素）を理解することができる。 ・グループで協力し、計画的な消費を考えることができる。 ・安全や衛生に気を付けながら、調理することができる。	【意思疎通】 1, 2 【マナー】 3, 4 【人間関係】 1, 5, 6, 8, 9, 10 【人の気持ち】 14、16～22 【購入時の対応】 2～8 【購入後の対応】 13, 14 【基礎・準備】 1～4 【調理の技術】 5～10、12～20 【後片付け】 21～25 【食】 5, 9, 10 【生活上のトラブル】 7～10, 17, 18	〔国語〕 1段階 (1) (2) (3) 2段階 (1) (2) (3) 〔社会〕 1段階 (1) 2段階 〔数学〕 1段階 (4) 2段階 (4) 〔理科〕 1段階 (3) 2段階 (3) 〔家庭〕 1段階 (3) (4) 2段階 (3) (4) 〔外国語〕 1段階 2段階 〔情報〕 1段階 (1) (4) (5) 2段階 (1)

10 11	☆ 学 校 祭	・ 普段の学習で扱っている知識・技能を発揮することができる。 ・ 集団活動を通して。学習をより深めることができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 1、3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【学校行事】 1～5	〔国語〕 1段階（1）（2）（3） 2段階（1）（2）（3） 〔社会〕 1段階（1） 2段階 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階 2段階 〔職業〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階 〔情報〕 1段階 2段階
12	★ 心 と か ら だ ④	・ 性に関する感染症や性犯罪、性被害についての知識を深めることができる。 ・ 健康な心と体は何かを考えることができる。 ・ 喫煙、飲酒、薬物はどういうものかを理解することができる。 ・ 自分の命や今後の人生について考えることができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 1、3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【命】 4, 5, 7 【有害事物】 10～13 【性の安全】 14～21 【病気・けが】 7	〔国語〕 1段階（1）（2）（3） 2段階（1）（2）（3） 〔社会〕 1段階（1）（2） 2段階 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階（1） 2段階（1） 〔外国語〕 1段階（2）（3） 2段階
1 2	★ 生 活 す る 力 ⑤	・ 自立について考え、自分の意見をまとめることができる。 ・ 人間が生活をしていくうえで「衣食住」の充実がなぜ必要なのかを考え、自分の意見を述べることができる。 ・ 学んだことから今すぐできることを考え、行動にうつすことができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 1、3～6、8～10 【人の気持ち】 14、16～22 【住】 11 【金銭・家計管理】 1、3、4 【社会のしくみときまり】 7 【地域社会とくらし】 16 【公共施設等の利用】 13、16、19 【冠婚葬祭などの対応】 7 【社会人・職業人としての基礎】 10	〔国語〕 1段階（1）（2）（3） 2段階（1）（2）（3）（4） 〔社会〕 1段階（1）（2）（3） 2段階（1）（2）（3） 〔数学〕 1段階 2段階 〔理科〕 1段階 2段階 〔外国語〕 1段階 2段階
		衣・食・住 ・ 余暇活動 ・ 公共マナー ・ 地域で暮らすための基礎的な知識 ・ 社会資源や地域資源の活用法 ・ 栄養 ・ 食事 ・ 健康		

2 3	★ 進級に向けて	・相手が喜んでもらえるように自分達ができることを精一杯行うことができる。 ・進級に向け何をすべきか考えることができる。 ・福祉サービスや就労に向けて考えることができる。	【意思疎通】 1, 2 【人間関係】 3, 6, 8, 9 【人の気持ち】 1 2、1 4、1 6～2 2 【家庭生活】 1 2 【職業生活】 3～6、1 4	〔国語〕 1 段階 (1) (2) (3) (4) 2 段階 (1) (2) (3) (4) 〔社会〕 1 段階 (1) (2) 2 段階 (1) (2) 〔数学〕 1 段階 2 段階 〔理科〕 1 段階 2 段階 〔外国語〕 1 段階 2 段階
		・ <u>1 年間の反省／まとめ</u> ・ 卒業生を送る会の準備 ・ 来年／卒業後の将来の見通し ・ <u>自己理解</u> ・ 進路希望先について ・ 手帳／制度について		

- ・ ★は課題単元。★は行事単元。○は総合的な学習。
- ・ 〃は国語、〃は数学と関連させて行う。

生活単元学習 各教科との関連と指導内容一覧 (3学年)

月	単元名	目標／学習内容	指導内容	各教科との関連
4	★ 進路の学習⑤	・1年間の学習内容を知り、見通しや就職への気持ちを高める。 ・卒業を見据えて目標や課題を確認し、学校生活に生かそうとする意欲を持つ。	【社会人・職業人としての基礎】 1～9、 【働くことに関する知識・理解】 1～9、13、15～18、	〔国語〕 1段階 2段階(4) 〔職業〕 1段階(1)(4) 2段階(1)
		・年間の学習予定 ・進路に関する予定 ・履歴書作成		
4 5	☆ 見学旅行	・見学旅行の目的や活動内容を知り、見通しをもつことができる。 ・仲間と協力し、活動することができる。 ・見学、体験を通して職業観や勤労観を学ぶことができる。	【意志疎通】 1～2 【マナー】 3 【購入時の対応】 1～3 【金銭・家計管理】 6 【〔社会〕のしくみときまり】 1～2 【公共施設等の利用】 10～12 【学校行事】 1～5	〔国語〕 1段階(2)(4) 2段階(2)(4) 〔社会〕 1段階(1)(2)(3) 2段階(3) 〔数学〕 1段階(4) 2段階(4) 〔情報〕 1段階(4) 2段階(4)
		・旅行の行程、内容確認 ・事前学習(グループ学習) ・公共物のマナー ・事後学習(活動のまとめ) ・作文書き		
6	★ 心とからだ③	・性に対する正しい知識の習得し、望ましい心身の成長を図る。 ・異性との関わり方などの正しい知識を身につけ、日常生活や卒業後の生活に生かすことができる。	【意志疎通】 1～2 【人間関係】 2、7 【人の気持ち】 15、21 【男女交際】 24～30 【命】 1～4、 【有害事物】 10～13 【性の安全】 14～20 【公共施設等の利用】 10～12	〔社会〕 2段階(2) 〔理科〕 1段階(1)(2)(3) 2段階(1)(2)(3) 〔保体〕 1段階(3) 2段階(3) 〔家庭〕 1段階(2) 2段階(2)
		・喫煙(マナーや影響) ・デートDV ・将来設計(結婚、妊娠など)		
7	★ 〔社会〕人としてのくらし方1	・社会人として生活する上での必要な知識を学び、将来に生かすことができる。 ・適切な情報モラルや危険回避を身につけ、情報社会の中でも柔軟に生きる力を身につける。	【意志疎通】 1～2 【生活上のトラブル】 9～10、15、17～18 【働くことに関する知識・理解】 2	〔社会〕 1段階(4) 2段階(4) 〔職業〕 1段階(6) 2段階(6) 〔情報〕 1段階(5)
		・スマートフォンの利用 ・SNSの危険性 ・架空請求 ・携帯依存症 ・ビジネスマナー		

7 8 9 10	(総) 前提実習	・現場実習（前提実習）の意義や目的を理解し、必要な知識や態度を学ぶ。 ・実習を振り返り、課題と成果を明らかにし、今後の学習・生活に目標を持つ。 ・自らの将来を具体的に考え、積極的に学習に取り組む。	【人間関係】 2 【人の気持ち】 1 6～1 7 【病気・けが】 1、4、8、9 【購入時の対応】 2、3 【金銭・家計管理】 6、7、1 0 【社会のしくみときまり】 1 0 【公共施設等の利用】 1 0～1 2 【社会人・職業人としての基礎】 1～1 4 【働くことに関する知識・理解】 1～9、1 3、1 5～2 2 自立した生活に関する知識・理解 1～5、1 3、1 4	〔国語〕 1 段階（2）（4） 2 段階（2）（4） 〔社会〕 1 段階（2） 〔数学〕 1 段階（4） 2 段階（4） 〔職業〕 1 段階（1）（4） 2 段階（1）（3）（4）（5）（6）
		・事前学習 期間、内容の確認 目標設定と心がまえ 決意発表会準備 ・事後学習 実習の振り返り 礼状書き 報告会準備		
10 11	☆ 学校祭を成功させよう	・劇の内容を理解し、自分なりに役や台詞を工夫して演じることができる。 ・学年全体やグループで協力ながら、活動を進めていくことができる。	【意志疎通】 1～2 【人間関係】 3、5、8 【社会のしくみときまり】 1 0 【学校行事】 1～5	〔国語〕 1 段階（4） 2 段階（4） 〔社会〕 1 段階（1）（5） 〔理科〕 1 段階（4）※今年度だけ
		・劇の内容確認 ・劇の練習 ・作文書き		
12	★ 〔社会〕人としてのくらし方 2	・正しい情報を選択して携帯電話及びインターネットを使用できる。 ・社会人として生活する上での必要な知識を知り、身につける。	【意志疎通】 1～2 【基礎・準備】 1～4 【調理の技術】 5～1 0、1 2～2 0 【後片付け】 2 1～2 4 【金銭・会計管理】 1～5、9～1 3 【社会のしくみとくらし】 3、5、7、9、1 0 【公共施設等の利用】 1 0～1 2 【働くことに関する知識・理解】 2 3～3 0 【自立した生活に関する知識・理解】 6～9、1 1～1 3	〔社会〕 1 段階（2） 2 段階（2） 〔数学〕 2 段階（4） 〔職業〕 1 段階（6） 〔家庭〕 1 段階（3） 2 段階（3）
		・社会人のイメージ ・仕事や生活に必要な力 ・卒業後の ・労働条件 ・手帳や法律 ・給料の使い方、金銭トラブル ・調理実習		
1 2	★ 〔社会〕人としてのくらし方 3	・自分たちの力で会を企画して実行する。 ・社会人としてのマナーを理解する。	【意志疎通】 1～2 【マナー】 3 【社会のしくみとくらし】 5、1 0 【生活上のトラブル】 1 3、1 4 【冠婚葬祭などの対応】 7 【社会人・職業人としての基礎】 6、1 0、1 4 【働くことに関する知識・理解】 9 【自立した生活に関する知識・理解】 9～1 3	〔社会〕 1 段階（4） 2 段階（4） 〔職業〕 1 段階（6）（7） 〔情報〕 1 段階（1）（2）（5） 2 段階（2）
		・自己評価 ・仕事、生活に対する不安 ・パソコンの活用 ・社会人としての身だしなみ ・事例から考える		

2	★卒業に向けて	・感謝と決意の気持ちをもつことができる ・3年間を振り返りながら、協力して活動に取り組むことができる。	【意志疎通】 1～2 【人の気持ち】 1 2、1 3 【社会人・職業人としての基礎】 7 【自立した生活に関する知識・理解】 1 4	〔国語〕 2 段階（4） 〔職業〕 1 段階（6）
		・卒業式準備 ・送る会の準備 ・卒業後に向けて		

★は課題単元。☆は行事単元。（総）は総合的な学習の時間。

生活単元学習

(1) 心とからだに関する学習

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指導内容	指導学年
コミュニケーション	場にかかわり	意思疎通マナー	1	集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現できる。	全
			2	必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えられる。	全
			3	場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がける。	全
			4	電話のマナーや訪問時のマナー等がわかり、行動できる。	全
心の学習	対人関係	人間関係	1	「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。	全
			2	家族のそれぞれの役割を理解し、進んで協力できる。	全
			3	自分はどんな人たちとどんな関係があるのかわかる。	2, 3
			4	自分と相手との距離感や立場の違いがわかる。	2, 3
			5	自分の言動が相手に及ぼす影響がわかる。	2, 3
			6	自分と相手との距離感や立場の違いに応じた適切な対応を考えることができる。	2, 3
			7	人にはそれぞれプライベートゾーン・プライバシーがあることがわかる。	2
			8	集団活動における目的を共有し、役割を理解して、協力して成し遂げる。	全
			9	リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むを適切に伝えられる。	全
			10	学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行する。	全
		人の気持ち	11	自分はどんなとき、どんな気持ちになるかわかる。	全
			12	どんなときに感謝の気持ちをもちか(もつべきか)わかる。	2, 3
			13	どんなときに謝罪の気持ちをもちか(もつべきか)わかる。	2, 3
			14	助け合うことの大切さについて考えることができる。	2, 3
			15	人や物を傷つける行為が悪いことであると理解することができる。	2, 3
			16	相手の言動を見て、相手の気持ちを考えることができる。	2, 3
			17	自分に置きかえて、相手の気持ちを考えることができる。	2, 3
			18	相手の気持ちを踏まえた上での適切な対応を考えることができる。	2, 3
			19	人によって価値観や考え方はそれぞれであることがわかる。	2, 3
			20	自分との差異を認めながらも、人の考え方を受容し、尊重することができる。	2, 3
			21	他者の気持ちや考えを理解・尊重し、自分のあり方・生き方にいかすことができる。	2, 3
			22	自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作りあげることができる。	2, 3
		男女交際	23	男性と女性では、意識や考え方に違いがあることについて、理解を深めることができる。	全
			24	異性に対する自分の気持ちや考え方を整理することができる。	全
			25	異性に対する接し方のルールやマナーを理解することができる。	全
			26	人を好きになるということについて、考えを深めることができる。	全
			27	高校生らしい男女交際のありかたについて理解を深める。	2, 3
			28	交際のルールやマナー、エチケットを理解することができる。	2, 3
			29	結婚とはどういうものか、知識や考えを深めることができる。	3
			30	家庭を築くとはどういうものか、知識や考えを深めることができる。	3
			31	子どもを育てるとはどういうものか、知識や考えを深めることができる。	3
			32	様々なライフスタイルや家族の形について、知識や考えを深めることができる。	3
命と人権	命と人権	命	1	受精・妊娠から出産までの流れについて、理解を深めることができる。	全
			2	妊娠中の胎児の様子や母体の健康について、理解を深めることができる。	全
			3	人工中絶について、知識や考えを深めることができる。	全
			4	命の重さについて、理解を深めることができる。	全
			5	命を育むことについて、理解を深めることができる。	2, 3
			6	献血など、生きるために支えあうことについて、考えを深めることができる。	2, 3
			7	生と死について、考えを深めることができる。	全
		人権	8	他者の良いところ、悪いところがわかる。	全
			9	世の中にはいろいろな人がいることがわかる。	3
			10	差別や偏見とは何かわかる。	2, 3
			11	誰に対しても差別や偏見をもってはならないことがわかる。	3
			12	人権とは何かわかる。	2, 3
			13	基本的人権について理解を深めることができる。	2, 3
			14	平等や平和について理解を深めることができる。	2, 3

分野・ 観点	要素・ 項目	小項目	No.	指導内容	指導学年
からだの学習	しくみ・はたらき		1	身体の部位(外部器官)の名称やはたらきを理解することができる。	1, 2
			2	身体の臓器(内部器官)の名称やはたらきを理解することができる。	1, 2
			3	脳や神経のはたらきについて理解を深めることができる。	3
			4	男性と女性のからだに違いがあることがわかる。	全
			5	大人と子どものからだに違いがあることがわかる。	全
			6	自分の身体の成長・変化に気づくことができる。	全
			7	人の成長の早さには個人差があることがわかる。	1, 2
			8	体格や運動能力には個人差があることがわかる。	2
			9	人によって成長の様子が異なる場合があることがわかる。	1, 2
			10	人の成長と発達の過程について、知識や考えを深めることができる。	1, 2
	健康管理	病気・けが	1	体調を自分で確認するための手だてがわかる。	1, 2
			2	体調を回復させるための手だてがわかる。	1, 2
			3	けがをしたときの応急措置がわかる。	1, 2
			4	病気やけがをしたときの連絡先がわかり、症状を伝えることができる。	3
			5	病院の診療科の種類がわかる。	3
			6	病院の受診の仕方がわかる。	2, 3
			7	薬の正しい使用方法がわかる。	2, 3
			8	病気やけがが悪化しないよう心がけることができる。	2
			9	病気やけがの原因がわかり、予防を心がけることができる。	2
		有害事物	10	飲酒や喫煙が人体にどのような影響を及ぼすかがわかる。	3
			11	飲酒や喫煙のルールやマナーがわかる。	3
			12	薬物が人体に有害であることがわかる。	3
			13	薬物の使用は絶対にしてはならないことがわかる。	3
		運動・余暇	14	健康のために適度な運動が必要であることがわかる。	2
			15	生活を豊かにするために余暇活動が大切であることがわかる。	2, 3
			16	屋内と屋外の長所と短所がわかる。 ※何となく意味は通じるが必要ないのではないか。	全
			17	様々な余暇の過ごし方を知る。	2, 3
	思春期と性	第二性徴	1	自分の性器の名称やはたらきがわかる。	全
			2	異性の性器の名称やはたらきがわかる。	全
			3	第二性徴におけるからだやこころの変化がどんなものか理解することができる。	全
			4	第二性徴でこころとからだに変化していることに気づくことができる。	全
			5	性徴には個人差や遺伝などがあることを知る。	全
		性行為	6	性交によって子どもができることがわかる。	全
			7	夢精、精通、射精の仕組みや後始末の仕方がわかる。	2
			8	初潮、月経の仕組みや手当・対応の仕方がわかる。	2
			9	受精の仕組みがわかる。	全
			10	自慰行為とはどんなものかわかる。	1, 2
			11	自慰行為に関するエチケットがわかる。	全
			12	見られるのも見せるのも、恥ずかしい身体の部位や行為が何かわかる。	1, 2
			13	言っても言われても恥ずかしいし、言うべきではない言葉が何かわかる。	1, 2

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
からだの学習	思春期と性	性の安全	14	性感染症の原因や予防などについて、知識や考えを深めることができる。	全
			15	避妊の意義と方法、必要性について、知識や考えを深めることができる。	全
			16	性情報や性産業について考え、適切な判断をすることができる。	3
			17	次の行為についてどのようなことかわかり、犯罪であることがわかる。 ①セクシャルハラスメント ②ストーカー行為 ③強姦・淫行 ④わいせつ行為 ⑤売春・援助交際 ⑥性的虐待	2, 3
			18	性被害にあったしまった場合どうなるかわかる。	3
			19	性加害をしてしまった場合どうなるかわかる。	3
			20	性被害・性加害の当事者とならないためにするべきことがわかる。	3
			21	性に関する悩みを信頼できる人に相談することができる。	1, 2

(2) 生活する力に関する学習

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
家庭生活	買物	購入時の対応	1	買物の大まかな流れやマナーがわかり、実践できる。	2, 3
			2	予算や所持金にあわせて買物をするすることができる。	2, 3
			3	目的や用途にあわせて買物をするすることができる。	2, 3
			4	予算や貯蓄にあわせて、買物を計画することができる。	2, 3
			5	目的や用途にあわせて、買物を計画することができる。	2, 3
			6	品物の価格を確認して買うことができる。	2, 3
			7	品物の質や量を確認して買うことができる。	2, 3
			8	品物を比較して、どちらが得であるかわかる。	2, 3
			9	レジでの表示価格や釣銭などに間違いがないか確かめることができる。	2, 3
			10	困ったときは店員などに尋ねることができる。	2, 3
		購入後の対応	11	購入した品物を壊さないように持ち帰る工夫をすることができる。	3
			12	購入した品物の保存方法に従って保存することができる。	2, 3
			13	購入した品物を使用状況に従って使用することができる。	2, 3
			14	購入した品物を用途にあわせて活用することができる。	2, 3
			15	購入した品物の領収書や保証書などの大切さがわかり、保管することができる。	全
	調理	基礎・準備	1	必要な調理器具や食材がわかり、準備することができる。	全
			2	衛生に気を配り、清潔を保ちながら調理することができる。	全
			3	調理環境を整え、安全に気を配りながら調理することができる。	全
			4	食卓の環境を整えることができる。	全
		調理の技術	5	食材をきれいに洗うことができる。	全
			6	食材の食べられない部分がわかり、取り除くことができる。	2, 3
			7	食材を適切な大きさに切ったり、ちぎったりして分けることができる。	全
			8	火や熱を用いた調理機器を使うことができる。	全
			9	電子レンジや炊飯器などの調理機器を使うことができる。	全
			10	包丁を適切に使って調理することができる。	全
			11	インスタントやレトルト、冷凍食品を適切に調理することができる。	1, 2
			12	固形のルーや乾物、調味料等を適切に使用することができる。	全

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
家庭 生活	調理	調理の技術	13	レシピを見ながら手順に従って調理することができる。	全
			14	分量を計って調理をすることができる。	全
			15	味見をしながら調味料等で味付けすることができる。	全
			16	食材の状態を随時確かめながら調理することができる。	全
			17	食材の特徴や用途にあわせて調理することができる。	2, 3
			18	状況にあわせて、加減や工夫をしながら調理することができる。	2, 3
			19	料理をきれいに盛りつけることができる。	全
			20	料理を人数等にあわせて適切に分けることができる。	全
		後片付け	21	使った食器や調理器具をきれいに洗うことができる。	全
			22	使った食器や調理器具を整理整頓することができる。	全
			23	台所をきれいに掃除することができる。	全
			24	余った食材や料理、ゴミなどを適切な方法で処分することができる。	全
			25	余った食材や料理を適切な方法で保存することができる。	2, 3
	衣・食・住	衣	1	季節や気象の変化に応じた服装をすることの大切さがわかる。	全
			2	衣類を清潔に保つことの大切さがわかる。	1, 2
			3	繊維や洗剤の特徴を知り、適切に取り扱うことができる。	1, 2
			4	ボタン付けなどの針作業、アイロンがけといった、簡単な縫工ができる。	1, 2
		食	5	健康によい食生活とはどんなものかわかる。	1, 2
			6	間違ったダイエットや偏食、過食等が引き起こす健康への被害がわかる。	2
			7	賞味期限、消費期限、品質保持期限の意味がわかる。	全
			8	インスタントやレトルト、冷凍食品、菓子などの長所と短所がわかる。	1, 2
			9	食品に含まれる栄養素や、その働きがわかる。	1, 2
			10	栄養のバランスのとれた献立を考えることができる。	1, 2
		住	11	生活に必要なものがどんなものかわかる。	2, 3
			12	住環境を清潔にすることの大切さと方法がわかる。	2
			13	住環境を整理整頓することの大切さがわかる。	2
			14	ゴミの分別の大切さと方法がわかる。	2
			15	省エネやエコなどの意味と方法がわかる。	2
			16	住環境を快適に保つための方法がわかる。	2
			17	防犯・防災の大切さと方法がわかる。	全
	金銭・家計管理		1	生活と結びつけて、お金の大切さがわかる。	2, 3
			2	将来の生活で想定されるおおよその収入がわかる。	2, 3
			3	生活に必要なおおよその費目がわかる。	2, 3
			4	生活に必要なおおよその費用がわかる。	2, 3
			5	収入と支出のバランスを考えて、生活や余暇に必要なものを選び、計画的にお金を使うことが大切であるとわかる。	2, 3
			6	帳簿をつけることや貯蓄をすることの意味や大切さがわかる。	2, 3
			7	帳簿や銀行で、収入、支出、残高などを確認することができる。	2, 3
			8	銀行に預けたり、貯金箱に貯金するなど、お金を管理することができる。	1, 2
			9	通帳や印鑑、現金の保管に気を配ることができる。	2, 3
			10	所持金を踏まえて、むだ遣いをなくすよう工夫することができる。	2, 3
			11	収支や預貯金の見通しを持ち、費用を抑えるための工夫をすることができる。	2, 3
			12	困ったときは頼れる人に相談することができる。	2, 3
			13	収入と支出のバランスを考えて、生活や余暇に必要なものを選び、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。	2, 3

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
社会生活	社会のしくみと暮らし	社会のしくみと暮らし	1	様々な国や地域、社会があることを知り、理解を深めることができる。	1
			2	社会の仕組みやきまりを知り、理解を深めることができる。	3
			3	憲法や法律があることを知り、理解を深めることができる。	2, 3
			4	刑罰があることを知り、理解を深めることができる。	3
			5	様々な権利や義務について理解を深めることができる。	3
			6	流通の仕組みについて理解を深めることができる。	2
			7	税制度について知る。	2, 3
			8	選挙制度について知る。	全
			9	様々な社会保障制度について知る。	3
			10	社会の一員としての責任について理解を深めることができる。	3
		地域社会と暮らし	11	自分の住んでいる街について調べ、理解を深めることができる。	1
			12	地域社会の成り立ちについて理解を深めることができる。	1, 2
			13	地域社会で活動するためのしくみやルールを体験を通して理解し、生活に活かすことができる。	3
			14	地域の人々との望ましい人間関係について理解を深めることができる。	3
			15	助け合いながら暮らしていくことについて理解を深めることができる。	3
			16	地域の住民として登録されていることを知る。	全
		社会への関心	17	新聞やニュースなどの話題に関心を持つ。	全
			18	現代社会が抱える諸課題について知る。	3
			19	現代社会が抱える諸課題について探求し、理解を深めることができる。	3
			20	現代社会が抱える諸課題を理解・意識し、行動することができる。	3
	公共物の利用とマナー	公共交通機関の利用	1	交通ルールがわかり、守ることができる。	2, 3
			2	バスの利用の仕方がわかる。	2, 3
			3	バスの利用における基本的なマナーがわかる。	2, 3
			4	鉄道の利用の仕方がわかる。	2, 3
			5	鉄道の利用における基本的なマナーがわかる。	2, 3
			6	困ったときは運転手や駅員などに尋ねることができる。	2, 3
			7	公共交通機関を利用した移動を計画することができる。	2, 3
			8	様々な公共交通機関を利用して目的地へ行くことができる。	2, 3
			9	必要に応じて公共交通機関を利用して目的地へ行くことができる。	2, 3
		公共施設等の利用	10	公共の場とはどんなところかわかる。	全
			11	公共の場におけるルールやマナー、エチケットを守ることができる。	全
			12	公共施設における基本的なマナーを守って利用することができる。	全
			13	郵便局や金融機関の利用の仕方がわかる。	1, 2
			14	手紙や荷物を送ることができる。	1, 2
			15	ATMや窓口などで現金の引き出しや預金ができる。	1, 2
			16	役場の利用の仕方がわかる。	1, 2
			17	必要な書類の申請や料金の支払いができる。	1, 2
			18	困ったときは係の人などに尋ねることができる。	2, 3
			19	必要に応じて公共施設を適切に利用することができる。	2, 3

分野・観点	要素・項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
社会	社会的トラブルへの対応	刑事犯罪	1	補導・逮捕とは何かわかる。	3
			2	次の行為をしたら補導・逮捕されるかわかる。 ①暴力・傷害・殺人 ②器物破損 ③窃盗・無銭飲食 ④放火 ⑤成人前の飲酒・喫煙 ⑥薬物乱用 ⑦刃物・危険物等の所持 ⑧金品不正要求・脅迫 ⑨暴走行為 ⑩無断外泊 ⑪誘拐・監禁 ⑫不法侵入	3(一部)
			3	補導・逮捕される行為は社会的に許されないことであるとわかる。	3
			4	補導・逮捕されたあと、自分の将来にどのような影響があるかわかる。	3
			5	補導・逮捕されないためにどうすべきかわかる。	3
			6	補導・逮捕にかかわってしまった時の対処法がわかる。	2, 3
		生活上の	7	様々な悪徳商法について知る。	3
			8	様々な悪徳商法にあわないために気をつけるべきことがわかる。	3
			9	携帯電話やインターネットでのトラブルについて知る。	2, 3
			10	携帯電話やインターネットでのトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	2, 3
			11	様々なカードによるトラブルについて知る。	2, 3
			12	様々なカードによるトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	2, 3

生 活	ト ラ ブ ル	13	ヤミ金融やサラ金でのトラブルについて知る。	無
		14	ヤミ金融やサラ金でのトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	無
		15	地域での生活におけるトラブルについて知る。	3
		16	地域での生活におけるトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	3
		17	トラブルをおこしたり巻き込まれたりしたときの対処法がわかる。	3
		18	トラブルに関する相談・救済機関や制度について知る。	3
	即 応 的 対 応	災 害 時 等 の 対 応	1 事件や事故のときの対処法がわかる。	2, 3
			2 地震や火災時の避難方法がわかる。	全
			3 災害に備えることの大切さがわかる。	3
			4 災害時に助け合うことの大切さがわかる。	3
		冠 婚 葬 祭 等 の 対 応	5 人を訪ねる際の服装や礼儀、マナーがわかる。	3
			6 様々な冠婚葬祭の種類や意味がわかる。	3
			7 冠婚葬祭にふさわしい服装や礼儀がわかる。	3

(3) 進路に関する学習

分野・ 観点	要素・ 項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
職 業 生 活	社会人・ 職業人としての基礎		1	実際の体験を通して、自己の能力や適性を知る。※生単でも扱う。	全
			2	働いて生活することの大切さについて理解を深め、働くことに感心を持つことができる。	全
			3	自己の個性や興味、関心等に基づいてよりよい選択をしようとする。	全
			4	より客観的、肯定的に自分の長所や課題を評価することができる。	全
			5	自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと持ち、自分らしさを持てる。	全
			6	自らの課題解決に向け、素直な気持ちで物事に取り組む。	全
			7	他者への感謝の心を持ち、それを表現する。	全
			8	活動場面での振り返りをもとに次の活動に活かそうとする。	全
			9	産業現場における実習を通して、より客観的、肯定的に自己を評価する。	全
			10	TPOに応じた身だしなみがわかる。	2, 3
			11	TPOに応じた言葉遣いや態度がわかる。	2, 3
			12	TPOに応じて適切な言動・対応をすることができる。	2, 3
			13	職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成する。	2, 3
			14	社会人として必要なルール、マナー、礼儀を身につけ、社会の一員として生活できる。	2, 3

分野・ 観点	要素・ 項目	小項目	No.	指導内容	指導学年
職 業 生 活	働くことに関する 知識・理解		1	情報を得るためには、様々な方法があることを体験を通して理解する。	全
			2	必要な情報を得るための様々な方法を活用する。	全
			3	社会の出来事に興味をもち働く人や仕事について調べ、様々な仕事があることを知る。	全
			4	様々な職業が社会や生活に果たしている役割及びその意義を理解する。	全
			5	様々な働き方があることを知る。	全
			6	社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行する。	全
			7	自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。	全
			8	自分の決めた目標に向けて自分で課題を解決しようとする意欲をもつ。	全
			9	将来の進路希望に基づいて当面の目標を立てて、その解決に向けて取り組む。	全
			9	戸惑いや葛藤などに対して、様々な選択肢の中からよりよい選択をする。	全
			10	見学や体験をもとに、進路先を主体的に選択する。	1, 2
			11	産業現場等における実習などの経験をもとに、自分の意思と責任で主体的に進路を選択する。	1, 2 [3]
			12	政治、経済、文化などの情報に興味をもち、職業生活に必要な事柄を調べる。	2, 3
			13	将来働くことについて理解を深めることができる。	全

		14	労働の対価としての給与の意味がわかる。	全
		15	進路決定までの道筋や手続きを理解することができる。	全
		16	実習先や進路先の仕事内容や、自分の役割を知る。	全
		17	実習先や進路先で働くために必要な知識や技能を学ぶ。	2, 3
		18	希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して、活用できる。	3
		19	将来設計に結びつく進路計画を立て、卒業後の生活に期待をもつ。	1, 2
		20	職業生活を思い描き、新しい生活へ期待をもつ。	3
		21	職業生活の中にやりがいや生きがいを見だし、前向きに自己の未来を設計する意識や社会の一員である自覚をもてる。	3
		22	実習先や進路先で困ったときの対処法がわかる。	全
		23	雇用と労働の関係について理解を深めることができる。	3
		24	雇用に関するトラブルについて知る。	3
		25	雇用に関するトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	3
		26	雇用に関する相談・支援機関や制度について知る。	3
		27	職場適応訓練制度について理解を深めることができる。	2, 3
		28	障害者支援に関わる法令や、それに基づく諸制度について理解を深めることができる。	3
		29	社会のルールや制度、職業の必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識、社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解する。	[3]
		30	解決出来ない問題に対して、地域の中で適切な相談相手を選んで支援を求めることができる。	3
自立した生活に関する知識・理解		1	生活する場の種類を知る。	全
		2	将来生活する場について理解を深めることができる。	全
		3	地域社会のなかで生活することについて理解を深めることができる。	2, 3
		4	地域での生活におけるトラブルについて知る。	2, 3
		5	地域での生活におけるトラブルをおこさないために気をつけるべきことがわかる。	2, 3
		6	国民健康保険について理解を深めることができる。	3
		7	療育手帳について理解を深めることができる。	3
		8	障害者基礎年金について理解を深めることができる。	3
		9	諸制度を活用して生活することについて理解を深めることができる。	3
		10	同窓会や卒後指導について知る。	3
		11	働くことにやりがいを感じることで及び将来設計に基づいた余暇活動の活用を考える。	3
		12	卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択を行うことができる。	3
		13	社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立すつとともに、余暇の活用等を図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。	3
		14	集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。	全

(4) 学校行事に関する学習

分野・ 観点	要素・ 項目	小項目	No.	指 導 内 容	指導学年
学校行事			1	行事の意味(意義や目的など)を理解する。	全
			2	行事に参加する際の適切な態度を理解する。	全
			3	行事における自他の役割を理解する。	全
			4	行事のスケジュールや自分の動き方を理解する。	全
			5	行事に参加する際に必要な台詞や動作を身につけることができる。	全

1 年生 音楽 題材・単元一覧

※1年次のテーマ

- 【歌唱】：多様な音楽に歌唱を通して体験し、歌う時の口の開け方や姿勢に気をつけ、適切な音量で歌う。
 【器楽】：打楽器や旋律楽器に親しみ、演奏方法を理解する。
 【鑑賞】：音楽の様々な特徴を豊かに感じ取りながら鑑賞する。
 【身体表現】：音楽を聴いて曲の特徴などを感じ取り、創造的に身体の動きで表現する。

	題材及び単元	単元目標	主な学習内容と活動	指導内容表	
4 (2)	・オリエンテーション ・歌唱① ・鑑賞① ・身体表現①(創作)	・年間の学習内容を理解することができる ・対面式や各行事に向けて、正し歌詞や音程を覚え、大きな声で校歌を歌うことができる。	学習内容は以下の中から、題材にあわせて取り組む。 【歌唱】 ・国家、校歌 ・学校祭・フレンドリーライブに向けて ・卒業式に向けて ・生徒の実態に応じた曲	・歌唱① 【D1-1, D1-3, D1-4, D1-6, D1-7, D1-8, D1-9】 ・鑑賞① 【A1-1, A1-2, A1-3, A1-5, A1-6, A1-7, A1-8, A1-9, A1-10】 ・身体表現①(創作) 【B1-1, B1-2, B1-3, B1-4, B1-5, B1-6】	年間を通して継続的に 行う学習 ・生徒の実態や行事等に合わせ、様々な題材や学習内容を組み合わせて授業を行う。
5 (3)		・プロや仲間の発表を鑑賞することで、様々な表現を知ることができる。			
6 (3)		・お題に合わせて曲を作ったり、ダンスを考えたりすることができる。	【器楽】 ・打楽器 ・旋律楽器 ・音符について		
8 (0)	・学校祭、フレンドリーライブに向けて ・歌唱②	・学校祭やフレンドリーライブで取り組む曲や学習内容を理解することができる	【鑑賞】 ・プロの演奏等 ・仲間の発表	・歌唱② 【D2-3, D2-7, D2-8, D2-9】 ・鑑賞② 【A2-1, A2-5, A2-6, A2-7, A2-8, A2-10, A2-11, A2-12】	
9 (3)	・鑑賞② ・身体表現②(創作) ・器楽	・歌詞、音程、リズム、ハーモニー等を意識して歌うことができる。	・メッセージ性のある歌詞から読み取る ・生徒の実態に応じた曲	・身体表現②(創作) 【B2-3, B2-3, B2-3, B2-4, B2-5, B2-7, B2-8, B2-9】 ・器楽 【C1-1, C1-2, C1-3, C1-4, C1-5, C1-6, C2-1, C2-3, C2-4, C2-5, C2-6, C2-7, C2-8, C2-9】	
10 (4)		・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。	【身体表現】 ・作詞 ・作曲 ・創作ダンス ・ボディーパーカッション		
11 (0)		・より良い表現について考え、発表することができる。			
12 (3)		・基本的な音符について理解することができる。			
1 (2)	・歌唱③	・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。		・歌唱③ 【D2-3, D2-7, D2-8, D2-9】	
2 (4)	・卒業式に向けて	・様々な曲に取り組むことで、表現力を高めることができる。 ・卒業式で取り組む曲について理解することができる。			
3 (4)	・まとめ	・国歌、校歌、卒業式歌の歌詞や音程を覚え、大きな声で歌うことができる。 ・1年間の活動内容、学びを振り返ることができる。			

2年生 音楽 題材・単元一覧

※2年次のテーマ

- 【歌唱】：多様な音楽に歌唱を通して体験し、基礎的な歌唱能力を活用して、仲間と楽しみながら歌う。
 【器楽】：打楽器や旋律楽器に親しみ、演奏の仕方に慣れ、気持ちを込めて演奏する。
 【鑑賞】：音楽の特徴を感じ取りながら鑑賞し、表現のイメージをふくらませる。
 【身体表現】：音楽を聴いて感じたイメージを創造的に仲間と身体表現する。

	題材及び単元	単元目標	主な学習内容と活動	指導内容表	
4 (3)	・オリエンテーション ・歌唱① ・鑑賞① ・身体表現①(創作)	・年間の学習内容を理解することができる ・対面式や各行事に向けて、正し歌詞や音程を覚え、大きな声で校歌を歌うことができる。	学習内容は以下の中から、題材にあわせて取り組む。 【歌唱】 ・国家、校歌 ・学校祭・フレンドリーライブに向けて ・卒業式に向けて ・生徒の実態に応じた曲	・歌唱① 【D1-1, D1-2, D1-4, D1-5, D1-8, D1-9】 ・鑑賞① 【A1-1, A1-2, A1-3, A1-4, A1-5, A1-6, A1-7, A1-8, A1-9, A1-10】 ・身体表現①(創作) 【B1-2, B1-3, B1-4, B1-5, B1-6, B1-7】	年間を通して継続的に 行う学習 ・生徒の実態や行事等に 合わせて、 様々な題材や学習 内容を組み 合わせて授業を 行う。 ・年間を 通して表現力・創造 力を高めることを 目的とした授業を 展開する。
5 (1)		・プロや仲間の発表を鑑賞することで、 様々な表現を知ることができる。	・楽器について		
6 (3)		・お題に合わせて曲を作ったり、ダンス を考えたりすることができる。	【器楽】 ・打楽器 ・旋律楽器 ・音符について		
7 (3)					
8 (2)	・学校祭、フレンド リーライブに向 けて	・学校祭やフレンドリーライブで取り組 む曲や学習内容を理解することができる	【鑑賞】 ・プロの演奏等 ・仲間の発表 ・メッセージ性のある歌詞から読み取る ・生徒の実態に応じた曲	・歌唱② 【D2-1, D2-2, D2-3, D2-4, D2-5, D2-6, D2-7, D2-8, D2-9, D2-10】 ・鑑賞② 【A2-1, A2-3, A2-5, A2-6, A2-7, A2-8, A2-9, A2-10, A2-11, A2-12】 ・身体表現②(創作) 【B2-1, B2-2, B2-3, B2-4, B2-5, B2-6, B2-8, B2-9, B2-10】 ・器楽 【C1-1, C1-2, C1-3, C2-1, C2-2, C2-3, C2-4, C2-5, C2-6, C2-9】	
9 (4)	・歌唱② ・鑑賞② ・身体表現②(創作)	・歌詞、音程、リズム、ハーモニー等を 意識して歌うことができる。	【身体表現】 ・作詞 ・作曲 ・創作ダンス ・ボディーパーカッション		
10 (3)	・器楽	・仲間の発表を鑑賞することで、良いと ころを自分に取り入れることができる。 ・より良い表現について考え、発表する ことができる。 ・基本的な音符について理解することが できる。			
11 (1)					
12 (3)					
1 (2)	・歌唱③	・様々な楽器の特徴を知り、演奏するこ とができる。		・歌唱③ 【D2-3, D2-7, D2-8, D2-9】	
2 (3)	・卒業式に向けて	・様々な曲に取り組むことで、表現力を 高めることができる。 ・卒業式で取り組む曲について理解する ことができる。			
3 (3)	・まとめ	・国歌、校歌、卒業式歌の歌詞や音程を 覚え、大きな声で歌うことができる。 ・1年間の活動内容、学びを振り返るこ とができる。			

3年生 音楽 題材・単元一覧

※3年次のテーマ

- 【歌唱】：多様な歌唱の経験を通して、生活を明るくするための手段として音楽への興味・関心を高める。
 【器楽】：打楽器、旋律楽器などの演奏の仕方に慣れ、他者との関わりに関心を持ちながら演奏する。
 【鑑賞】：多様な音楽の良さや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する。
 【身体表現】：多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、創意工夫しながらより良い表現をする意識や能力を高める。

	題材及び単元	単元目標	主な学習内容と活動	指導内容表	
4 (2)	・オリエンテーション ・歌唱① ・鑑賞① ・身体表現①(創作)	・年間の学習内容を理解することができる ・各行事に向けて、正し歌詞や音程を覚え、大きな声で校歌を歌うことができる。	学習内容は以下の中から、題材にあわせて取り組む。 【歌唱】 ・国家、校歌 ・学校祭・フレンドリーライブに向けて ・卒業式に向けて ・生徒の実態に応じた曲	・歌唱① 【D1-1, D1-2, D1-4, D1-5, D1-8, D1-9】 ・鑑賞① 【A1-1, A1-2, A1-3, A1-4, A1-5, A1-6, A1-7, A1-8, A1-9, A1-10】 ・身体表現①(創作) 【B1-2, B1-3, B1-4, B1-5, B1-6, B1-7】	年間を通して継続的に 行う学習 ・生徒の実態や行事等に合わせ、様々な題材や学習内容を組み合わせて授業を行う。
5 (2)		・プロや仲間の発表を鑑賞することで、様々な表現を知ることができる。			
6 (5)		・お題に合わせて曲を作ったり、ダンスを考えたりすることができる。	【器楽】 ・打楽器 ・旋律楽器 ・音符について		
7 (3)					
8 (1)	・学校祭、フレンドリーライブに向けて ・歌唱② ・鑑賞② ・身体表現②(創作) ・器楽	・学校祭やフレンドリーライブで取り組む曲や学習内容を理解することができる ・歌詞、音程、リズム、ハーモニー等を意識して歌うことができる。	【鑑賞】 ・プロの演奏等 ・仲間の発表 ・メッセージ性のある歌詞から読み取る ・生徒の実態に応じた曲	・歌唱② 【D2-1, D2-2, D2-3, D2-4, D2-5, D2-6, D2-7, D2-8, D2-9, D2-10】 ・鑑賞② 【A2-1, A2-3, A2-4, A2-5, A2-6, A2-7, A2-8, A2-9, A2-10, A2-11, A2-12】 ・身体表現②(創作) 【B2-1, B2-2, B2-3, B2-3, B2-4, B2-5, B2-6, B2-8, B2-9, B2-10, B2-11】 ・器楽 【C2-2, C2-3, C2-4, C2-5, C2-6, C2-9】	年間を通して表現力・創造力を高めることを目的とした授業を展開する。
9 (0)		・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。	【身体表現】 ・作詞 ・作曲 ・創作ダンス ・ボディーパーカッション		
10 (2)		・より良い表現について考え、発表することができる。			
11 (3)		・基本的な音符について理解することができる。			
12 (3)					
1 (2)	・歌唱③	・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。		・歌唱③ 【D2-3, D2-7, D2-8, D2-9】	・玄関コンサートに向けて曲を決め、取り組む。
2 (3)	・卒業式に向けて	・様々な曲に取り組むことで、表現力を高めることができる。 ・卒業式で取り組む曲について理解することができる。			
3 (1)	・まとめ	・国歌、校歌、卒業式歌の歌詞や音程を覚え、大きな声で歌うことができる。 ・3年間の活動内容、学びを振り返ることができる。			

音 楽 科

分野・観点	要素・項目	No.	指 導 内 容	備 考	指導学年
鑑賞	第一段階	A1-1	様々な音楽を鑑賞し、曲の雰囲気や、美しさなどを感じ取る。		全
		A1-2	曲のリズムや音型、演奏楽器の音色などに注目して聴く。		全
		A1-3	音楽を聴き、感じたことを話す。		全
		A1-4	演奏に用いられている楽器の名称を知る。		2・3
		A1-5	曲名や作曲者名を知る。		全
		A1-6	写真や映像を見ることにより、演奏形態や曲に関する情報等を知る。		全
		A1-7	数種類の楽器の映像や写真、実物などを見て名称を答える。		全
		A1-8	体をリラックスさせて静かに音楽を聴く。		全
		A1-9	曲の速度や拍節などを感じ取り、体でリズムをとりながら聴く。		全
		A1-10	音楽会を鑑賞する時のマナーについて知る。		全
	第二段階	A2-1	様々な音楽を鑑賞し、曲の特徴や美しさなどを味わう。		全
		A2-3	曲を特徴づけている要素や効果、楽器の音色、奏法などに注目して聴く。		2・3
		A2-4	音楽を聴き、音楽的根拠に基づいて感想を話す。		3
		A2-5	演奏に用いられている楽器の名称や特徴を知る。		全
		A2-6	曲名や作曲者名を覚える。		全
		A2-7	曲や作曲者についてのエピソードや背景などの説明を聞き、理解する。		全
		A2-8	写真や映像を見て、その音楽や演奏者の特徴や背景などについて理解を深める。		全
		A2-9	楽器の音色を聴いて楽器の名称を答える。		2・3
		A2-10	体をリラックスさせ、曲の美しさを感じたり、イメージを思い描きながら聴く。		全
		A2-11	曲の速度や拍説の強弱などを感じ取り、音楽に合わせて体でリズムをとりながら聴く。		全
		A2-12	音楽会を鑑賞する時のマナーを守って鑑賞する。		全
身体表現	第一段階	B1- 1	音楽を聴きながら体を自由に動かす。		1
		B1- 2	音楽を聴きながら動きを模倣する。		全
		B1- 3	拍に合わせて歩いたり、走ったりする。		全
		B1- 4	指導者の動きや映像を見ながら動きを模倣し、ダンスをする。 指導者やリーダーの指示に従い、集団によるリズムゲームなどに取り組む。	*「リズムゲームなど」では、拍子、テンポ、 リズムパターンなどの要素を扱ったものだけでなく、音色やメロディなどの要素を扱うのも可。	全
		B1- 5			全
		B1- 6	テンポ変化の少ない音楽に合わせて指揮者の動きを模倣する。		全
		B1- 7	演奏の開始や終了の合図を出す。		2・3
					全
	第二段階	B2- 1	音楽を聴いて感じたイメージを創造的で身体表現する。	*「リズムゲームなど」では、拍子、テンポ、 リズムパターンなどの要素を扱ったものだけでなく、音色やメロディなどの要素を扱うことも可。 *「指揮法」に関する学習は、「身体表現」の領域に含める。	2・3
		B2- 2	音楽に合わせて、身体を柔軟に動かして動きを模倣する。		全
		B2- 3	テンポの変化に素早く対応し、拍に合わせて走ったり歩いたりする。		全
		B2- 4	演奏者の動きや映像などを見ながら動きを真似て、ダンスをする。		全
		B2- 5	振り付けを覚えてダンスをする。		全
		B2- 6	旋律やリズム、音色などの音楽的要素を、身体の動きで表現する。		2・3
		B2- 7	ルールを理解し、集団によるリズムゲームなどに取り組む。		1
		B2- 8	音楽に合わせて歌ったり楽器を鳴らしたりしながら身体表現をする。		全
		B2- 9	グループのメンバーと一緒に動きのパターンや振り付けを考える。		全
		B2-10	2拍子、3拍子、4拍子の図形を覚え、指揮をする。		2・3
		B2-11	適切なタイミングで演奏の開始や終了などの合図をする。		3
器	第一段階	C1- 1	打楽器や旋律楽器に触れ、鳴らすことに慣れる。	*使用楽器は、打楽器各種(トーンチャイム、ミュージックベル等を含む)、鍵盤楽器リコーダー等。	1・2
		C1- 2	打楽器などで、音の強弱を鳴らし分ける。		1・2
		C1- 3	自由なテンポで打楽器や旋律楽器を演奏する。		1・2
		C1- 4	指導者の合図を見て、演奏を開始したり、終了したりする。		1
		C1- 5	音楽に合わせて手拍子をする。		1
		C1- 6	指導者が提示した1小節程度のリズムパターンを模倣する。		1

楽	第二段階	C2- 1	打楽器や旋律楽器の奏法を知り、演奏する。		1・2
		C2- 2	音の強弱を意図的につけて演奏する。		2・3
		C2- 3	音楽に合わせて打楽器や旋律楽器を演奏する。		全
		C2- 4	リズム型や旋律を覚え、音楽に合わせて演奏する。		全
		C2- 5	指導者の合図を見ながらタイミングよく演奏する。		全
		C2- 6	パートナーやグループのメンバーとタイミングを合わせて演奏する。		全
		C2- 7	テンポの変化に対応し、拍に合わせて手拍子をする。		1
		C2- 8	1～2小節程度のリズムパターンを覚えて手拍子をする。		1
		C2- 9	図形や記号などをもとにリズムパターンを理解して演奏する。		全
歌	第一段階	D1- 1	適切な姿勢で歌う。	*「歌う」には、「独唱、斉唱、簡単な合唱」を含み、生徒の実態などに応じて扱う。	全
		D1- 2	適切な声量で歌う。		2・3
		D1- 3	前奏を聴き、歌い始めるところを理解して歌う。		1
		D1- 4	強弱を付けて歌う。		全
		D1- 5	適切な箇所でプレスをする。		2・3
		D1- 6	曲の雰囲気を感じ取り、範唱を真似て歌う。		1
		D1- 7	歌詞やメロディの一部を覚えて歌う。		1
		D1- 8	マイクの使い方に慣れ、適切な声量で歌う。		全
		D1- 9	拍に合わせて手拍子をしながらかう。		全
	第二段階	D2- 1	口の開け方や姿勢に注意して歌う。	*「歌う」には、「独唱、斉唱、二部合唱、オベレッタなどによる表現」を含み、生徒の実態などに応じて扱う。	2・3
		D2- 2	活動内容や場面などにより声量をコントロールし、適切な声量で歌う。		2・3
		D2- 3	指揮者の合図や伴奏、周囲の人の歌声に合わせて歌う。		全
		D2- 4	適切に強弱を付けて歌う。		2・3
		D2- 5	フレーズを意識して歌う。		2・3
		D2- 6	歌詞の意味を考え、気持ちを込めて歌う。		2・3
		D2- 7	歌詞やメロディを正しく覚えて歌う。		全
		D2- 8	マイクの使い方を知り、適切な声量で歌う。		全
		D2- 9	ステップを踏んだり、振りをつけながらかう。		全
		D2-10	旋律の動きや歌詞の内容、形式などから強弱やテンポを考え、表現を工夫して歌う。		2・3